望遠鏡観測部門報告　**Report of Telescopic Meteor observations in November,2015. No.380**

担当幹事　殿村泰弘（**Tonomura Yasuhiro**）宮城県富谷町（**Tomiya-machi Miyagi-pref,Japan**）

２０１５年１１月の望遠鏡観測の結果を（表－１）に示します。今月は寺迫氏からの観測報告がありました。

観　測　者 Observer	観　測　地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備　考 Remarks
				Plot	S’n	Total	
寺迫　正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	5	320	-	6 6	66	15cm×25 2.7° Bino. 25cm×35 2.4° L.T.
2015 年 11 月計		5	320	0	66	66	HR 12.4

（表－１）　２０１５年１１月望遠鏡観測結果

Table 1　Summary of the Telescopic Meteor observations in November, 2015

● 出現数状況

２０１５年１１月の出現数変化を（表－２）に示します。

日	開始 JST		終了 JST		分	中央時 UT	観測方向 (Direction)	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	Cl	
3	18	5	18	45	40	3.392	Cyg,Vul,Peg,Equ,Aqr,Cap,Mic,PsA,Gru	-	8	8	12.0	11.5	rG		25cm L.T. *35
4	18	20	19	20	60	4.410	Cyg,Peg,Aqr,Cap,PsA,Gru	-	20	20	20.0	11.5	rG		25cm L.T. *35
20	27	52	28	52	60	20.807	Lyn,Gem,Cnc,CMi,Mon,Hya,Pup,Pyx,Vel	-	17	17	17.0	12.0	G		25cm L.T. *35
20	28	55	29	35	40	20.844	Her,CrB,Boo,Ser,Vir,Lib	-	3	3	4.5	10.0	rP		15cm Bino.*25
27	28	25	29	25	60	27.830	Her,CrB,Boo,Ser,Vir,Lib	-	3	3	3.0	10.0	rP		15cm Bino.*25
30	18	28	19	28	60	30.415	And,Cas,Cam,UMa,Lyn	-	15	15	15.0	11.5	rG		25cm L.T. *35
	5	Night			320	Min.		0	66	66	12.4				

（表－２）２０１５年１１月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in November, 2015

● 光度分布

２０１５年１１月の望遠鏡流星の光度分布は，（表－３）に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag
寺迫 (Terasako.M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	10	18	30	5	0	10.0 - 12.0
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	10	18	30	5	0	

（表－３）２０１５年１１月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in November, 2015

寺迫氏は多くの暗い流星を観測していましたので，各夜の光度分布を(表－４)に紹介します。

Date(UT	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
3.392					3	5		11.5	8	10.63
4.410	1			2	6	11		11.5	20	10.25
20.807	1		1		4	6	5	12.0	17	10.59
20.844				3				10.0	3	9.00
27.830				3				10.0	3	9.00
30.415				2	5	8		11.5	15	10.40
Total	2	0	1	10	18	30	5		66	10.30

（表－４）２０１５年１１月の光度分布（寺迫氏観測）

Table 4 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in November, 2015 (Terasako Obs.DATA)

寺迫氏からは，１１月の報告とともに，流星の出現高度の記録についてのことについて書き添えられていました。

以下メールから抜粋＞

先月の観測報告でメールしました、天頂から地平線にかけて流してゆく観測方法を昨年の７月から行なっていることを紹介しましたが、それに伴い今年の6月より観測した流星の出現高度を記録するようにしました。

観測数も非常に少ないので紹介程度に留めますが、観測高度３０°～地平線までを「低空域」、６０°～３１°までを「中空域」、天頂～６１°までを「高空域」とし分類しました。

使用望遠鏡は、１５cm 双眼鏡・２５cm 反射鏡・４０cm 反射鏡で天頂から地平線までを垂直に流す方法で観測します。

ただし、１５cm 双眼鏡は直視型なので３０°以上の観測は姿勢の問題等で長時間の観測効率が低下しますので、専ら「低空域」での観測専用とし、垂直もしくは水平で観測します。前書きが長くスミマセン！結果ですが、１０等から１２等までの流星を調査対象とした結果 10、１０等級では、「低空域」は１０等全体の１４％、「中空域」は５６％、「高空域」は３０％の出現率です。次に、１１等級では、「低空域」は11等全体の「0%」、「中空域」は25%、「高空域」は75%の出現率です。次に、12等級では、「低空域」は12等全体の「0%」、「中空域」は12%、「高空域」が88%の出現率です。この結果から伺い知ることは、暗いものほど、低い高度では捕捉し難い結果となっています。私は、15cm 双眼鏡を４０年ほど使用していますが、「低空域」での１１等級を捉えることが至難之業であることを実感しております。

（２０１５年１２月２５日記）